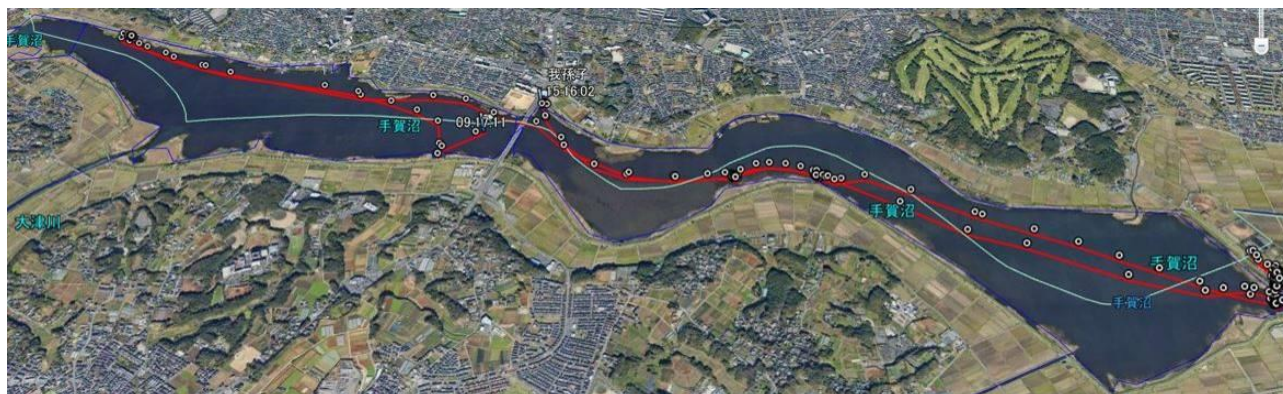


# 「手賀沼魚類・貝類・プランクトン調査」

手賀沼水生生物研究会

鈴木盛智

【2019年10月5日(土)9:00~15:00】 参加 17名



		根戸新田 9:40~10:10		見晴らし台 10:45~11:15		フィッシングセンター棧橋 11:45~12:45		フィッシングセンター向い 13:10~13:40		岩井新田 14:15~14:45	
		船1	船2	船1	船2	船1	船2	船1	船2	船1	船2
モンドリ4個による捕獲数	モツゴ	6	81	106	66	84	152	27	18	6	3
	ギンブナ										
	タモロコ				3						
	ツチフキ		1			6	3				
	タイリクバラタナゴ	1	11	3		2	13	1			
	ヨシノボリ								1		1
	ヌマチチブ			1			1	1			1
	スジエビ		13	7	35	8	13	2	4	13	11
	テナガエビ			8					1		
	シナヌマエビ				2						
タウナギ											
ブルーギル										1	
ガサガサによる捕獲種	モツゴ	○	○	○	○			○		○	○
	ギンブナ		○								
	タモロコ	○		○							
	ツチフキ										
	タイリクバラタナゴ	○	○	○	○						○
	ヨシノボリ		○					○			
	ヌマチチブ			○	○			○			
	スジエビ	○	○		○			○		○	○
	テナガエビ			○	○						○
	シナヌマエビ	○	○								○
タウナギ		○								○	
ブルーギル		○		○				○	○		
貝類	ドブガイ生体			4				9		3	
	イシガイ貝殻							4			
	カラスガイ貝殻							2		○	
	カワヒバリガイ							○			
	ナガエツルノゲイ	○								○	
	オオバナキンバイ	○								○	

※移動中確認した魚類 ハクレン、ボラ、ゲンゴロウブナ



- 魚類ではモツゴ、甲殻類ではスジエビが、これまで同様に優占種であることに変わりはない。
- 二枚貝：ドブガイ生体の生息数も下流域は以前通り変化はないが、手賀沼大橋上流域では生体は見られなかった。
- 特定外来植物のナガエツルノゲイトウ、オオバナキンバイは昨年の調査では見られなかった岩井新田まで侵入したことが確認できた。